

# 広告

## 師走の雪

雪の本格的シーズンがやつてきた。

最近の降り方は「雪やっこ」と優しい響きには程遠く、ゲリラ豪雪の新語を生むほどの様は激しい。「いんこ」は、来いの言い回しとの説もある

ようで、願わくは節度ある丈にとどめてほしいものだが、今冬の長期予報

は大陸の高気圧が発達し、冬型の日が多いようだ。▼雪の旧字は彗の上に雨がのつてゐる。彗で掃除できるほどの雪なら苦労はいらぬと言ふもの。

昨冬の最大積雪は179センチメートル(生振観測点)の記録更新となり、国道231号の通行止めは5回に達した。石狩湾の水蒸気をたっぷり含んだ雪雲は、生き物のように次々と湧き出てくる。まだ冬のとば口だ

といふのに、数十万円もする除雪機が店頭から消え、排雪業界も予約でいっぱいとのニュースが流れていた。生活防衛の最大課題となりつつある

▼師走を迎える年の出来事を思い返すことさえ大変なほど多事な年であつた2013年、雪は潔白の潔が転じて雪となつたという。雪の古い言葉の意に拭う(すすぐ)、淨める、除くなどと表していること。師走に降る雪に厄事の彗掃を託し、初春を迎える。

(市長)

◎ 石狩隨想

80